

行雲流水

No.254 令和4年10月3日発行

マナビアン・グローカリアンの育ち その2

校長 寒河江 正人

生徒諸君。もう一度言う。

「きみたちの営み」は、すでに**「そこそこ」**で**「その芽」**を出し始めているではないか。

覚えているかい。

1学期に紹介した**「ヤマザワでの買い物爆りのおぼあちゃんを助けた本校女子生徒の話」**。

「炎天下でタクシーを待つおぼあちゃんに飲み物を買ってあげた本校男子生徒の話」。

そして、9月5日には、

「あなたの心に宅配便「お弁当にイベントゥ」の地域貢献活動が広げた地元高齢男性からのお礼のお手紙」をいただいたこと。

このお手紙をくださった土肥源治さんには、私からお電話を差し上げた。

土肥さんは**「神町中学校の生徒さんのお気持ち、うれしかった。」**としみじみ語ってくれた。

これらのすべてが、本校生徒の**「主体的に学び、主体的に地域貢献する育ち」**の姿である。

「マナビアン・グローカリアンとしての育ち」の姿である。

そして、9月29日。佐直里瑚さんの英語弁論に向かってきた**「学びのプロセス」**。

幼いときに芽生えた**「将来への夢や憧れ」**を自ら少しずつ少しずつ、学び育ててきた。

その**「学びのプロセス」**を私たちは**「1学期ベスト・マナビアン」**の選考会で知っていた。

本校の校訓の第2番目に掲げるのは、**「英知」**だ。

「本当に価値があるのは、」と私は佐直里瑚さんに伝えた。

勝ち負けや順位ではなく、**「そのあなた自身の「学びのプロセス」にこそ価値がある」と**。

「君たちが向かっている方向に間違いはない。自信をもって日々の学び・活動に当たろう。」

10月7日からは、生徒会**「クラス魅力ポスター」**の作成が始まるという。

スマイルプロジェクト担当の九十理央菜さんを中心に、みんなが力を合わせて知恵を出し、各クラスの魅力が詰まっているポスターが完成する日を心待ちにしている。

本校の校訓の第3番目に掲げるのは、**「友愛」**だ。

この活動を通して、担当の九十理央菜さんが**「ねらい」**に示してくれたとおり、

「クラスの友愛」と「全校生徒の友愛」が高まり、広がり、深まることを祈っている。